



## 覚醒剤の摘発件数 52 件、過去最高を記録 - 令和5年の横浜税関における密輸摘発状況 -

横浜税関は、令和5年の1年間に管轄する空港や港湾等において、不正薬物の密輸入等の摘発をした実績をまとめましたのでお知らせします。

### 1. 不正薬物<sup>(※1)</sup>

不正薬物全体の摘発件数は219件(前年比49%減、全国の約3割)、押収量<sup>(※2)</sup> <sup>(※3)</sup>は約250kg(同40%減、全国の約1割)と、4年連続で200kgを超えた。摘発件数、押収量共に依然として深刻な状況となっている。

外国から到着する国際郵便物の約8割を通関している川崎外郵出張所における摘発件数は206件(同50%減、全国の約3割)となっている。

(※1)覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう。

(※2)錠剤型薬物を除く。(※3)重量等未確定につき含まれないものがある。以下、個々の押収量についても同様。

#### (1) 覚醒剤

摘発件数は52件(同58%増)、押収量は約182kg(同約2.9倍)と、共に増加し、摘発件数は、過去最高を記録した。

#### (2) 大麻

- ・大麻草の摘発件数は17件(同23%減)、押収量は約1kgと共に減少した。
- ・大麻樹脂等(大麻リキッド等の大麻製品を含む。以下同じ。)は、摘発件数は12件(同100%)、押収量は約6kg(同約7.7倍)と押収量が増加した。

#### (3) 麻薬

- ・コカインの摘発件数は7件(同75%増)、押収量は約1kg(同51%増)と、共に増加した。
- ・MDMAの摘発件数は17件(同56%減)、押収量は42kg(同42%増)と、摘発件数は減少し、押収量は増加した。
- ・その他の麻薬(ケタミン・LSD等)の摘発件数は34件(同15%減)、押収量は17kg(同29%増)と、摘発件数は減少し、押収量は増加した。

#### (4) 指定薬物

摘発件数は75件(同73%減)、押収量は約1kg(同77%減)と共に減少した。

### 2. その他

- ・国際郵便物により中国及び香港へ紙巻きタバコ等25,000本を不正に輸出する準備をした事案を告発した。
- ・香港から到着した国際郵便物に隠匿された偽造収入印紙(50シート)を摘発した。

密輸情報フリーダイヤル **0120-461-961**  
E-mail : [yokohama-mitsuyu110@customs.go.jp](mailto:yokohama-mitsuyu110@customs.go.jp)

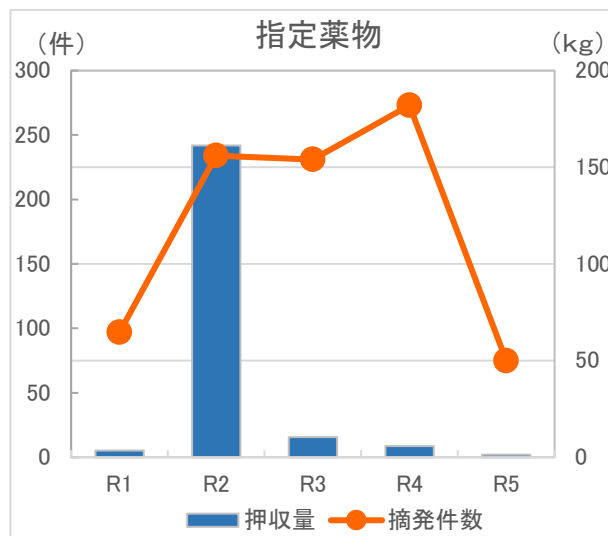
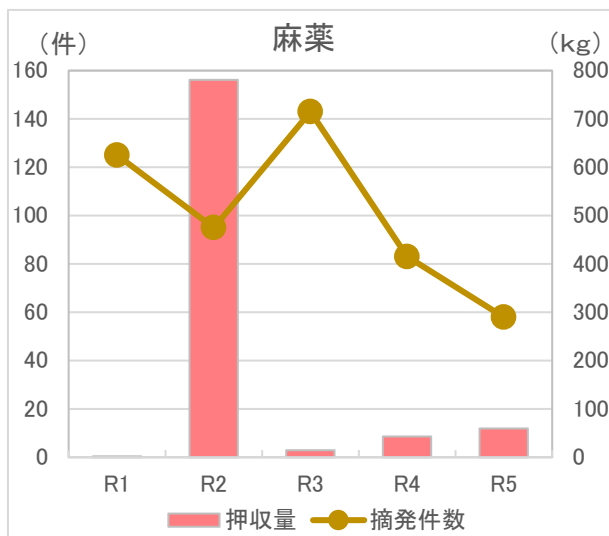
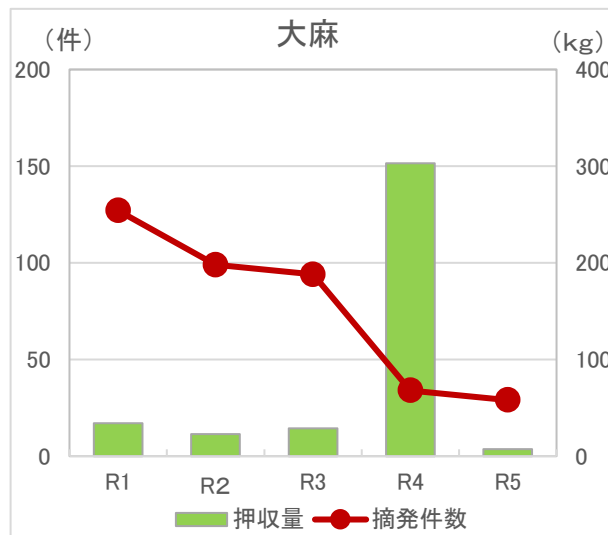
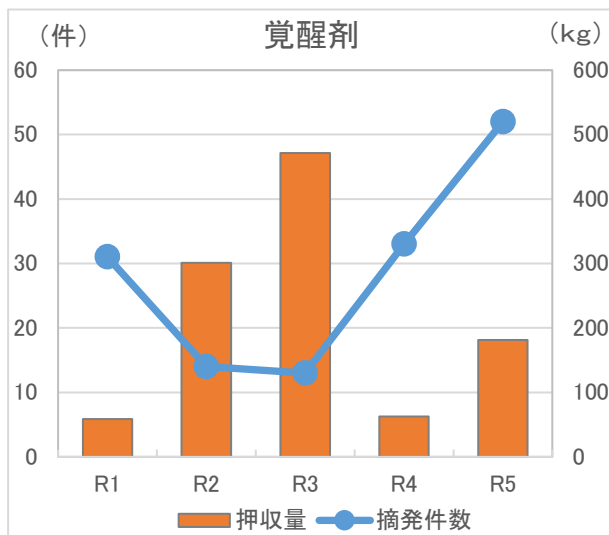
問合せ先  
横浜税関 調査部 特別審理官(第1担当)  
TEL045-212-6080

# 横浜税関における密輸摘発状況（令和5年）

## 不正薬物

不正薬物全体の摘発件数は219件（前年比49%減）となり、全国の約3割を占めた。押収量は約250kg（同40%減）となり、4年連続で200kgを超え、全国の約1割を占めた。

### 横浜税関における薬種別の摘発件数と押収量の推移



- (注) 1. 令和元年は、平成31年1月から令和元年12月を示す。以下同じ。  
 2. 押収量に錠剤型薬物は含まない。  
 3. 端数処理のため数値が合わないことがある。  
 4. 令和5年の数値は速報値である。

## 仕出地の動向

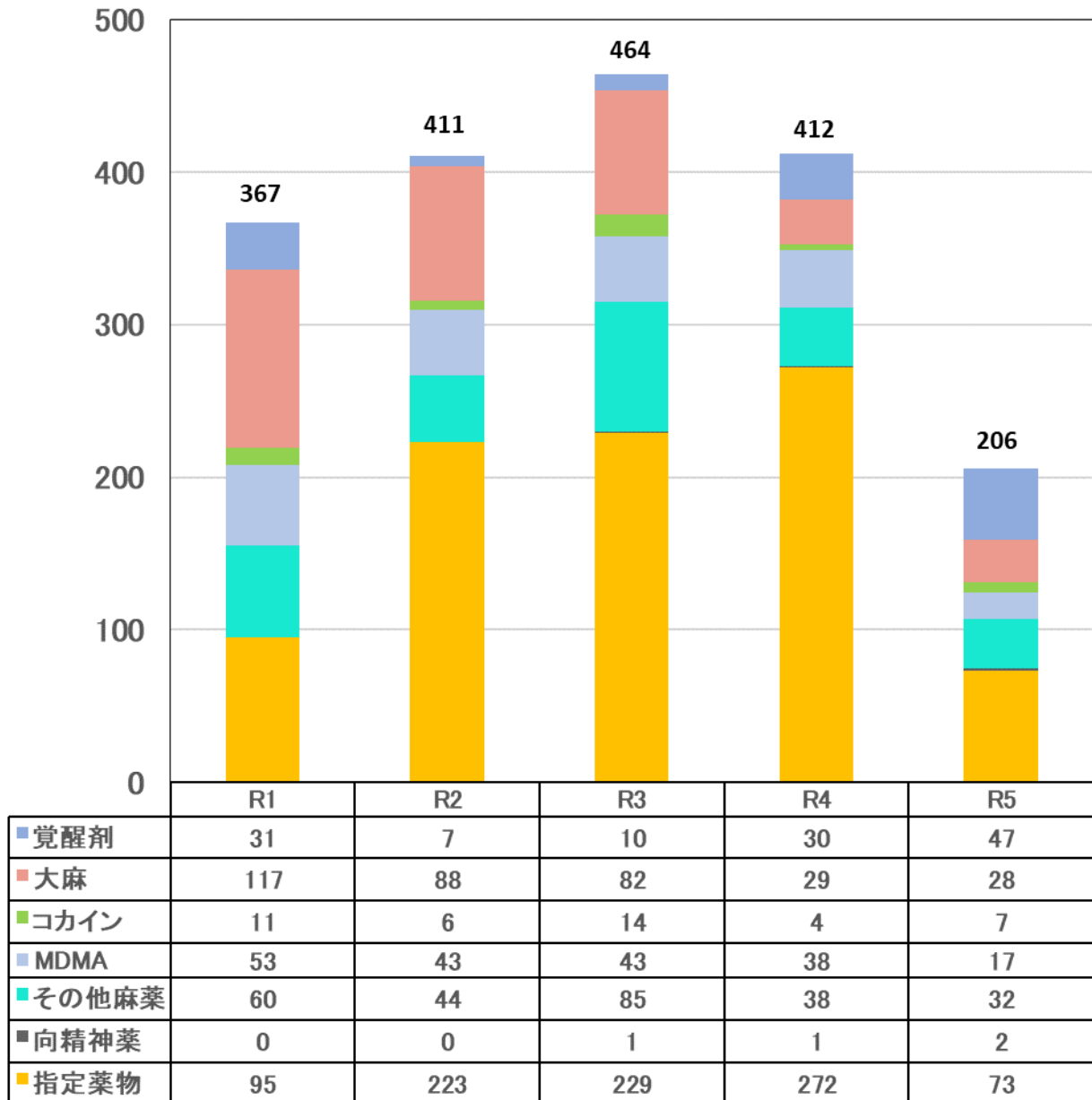
令和5年は、上位4カ国（アメリカ、スロバキア、タイ及びオランダ）からの摘発が全体の約60%を占めた。また、令和4年と比較し、タイからの摘発が約3倍となった一方、台湾からの摘発が約98%減少した（資料3参照）。

## 国際郵便物からの摘発

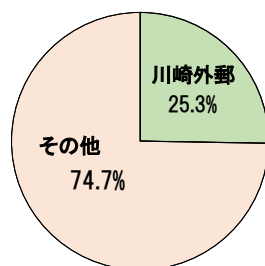
外国から到着する国際郵便物の約8割を通関している川崎外郵出張所の国際郵便物からの摘発件数は206件（前年比50%減）となり、全国の国際郵便物からの摘発件数の約54%を占めた。

### 川崎外郵における不正薬物の摘発件数

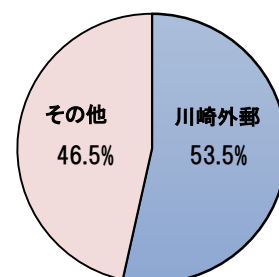
摘発件数[件]



### 川崎外郵出張所の摘発状況（構成比）



全国の摘発件数



全国の国際郵便物からの摘発件数

## 主な摘発事例

### 【事例1】

カナダから到着した海上貨物に隠匿された**覚醒剤約116kg**を摘発した。

(令和5年6月・本牧埠頭出張所)



### 【事例2】

タイから到着した国際郵便物に隠匿された**覚醒剤約5,980g**を摘発した。

(令和5年3月・川崎外郵出張所)



### 【事例3】

アメリカから到着した国際郵便物に隠匿された**覚醒剤約2kg**を摘発した。

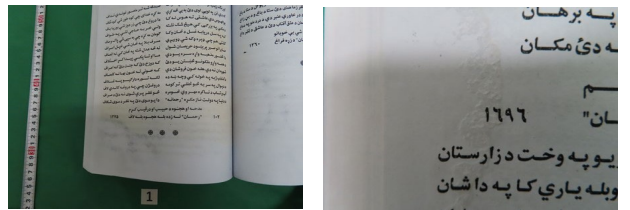
(令和5年4月・川崎外郵出張所)



### 【事例4】

アフガニスタンから到着した国際郵便物から書籍に浸み込ませた**覚醒剤0.06g**(書籍込み重量約4,345g)を摘発した。

(令和5年7月・川崎外郵出張所)



### 【事例5】

チェコから到着した国際郵便物に隠匿された**MDMA約15,000錠**を摘発した。

(令和5年5月・川崎外郵出張所)



### 【事例6】

アメリカから到着した国際郵便物(ろうそく)に隠匿された**大麻樹脂計約1,076g**を摘発した。

(令和5年1月・川崎外郵出張所)



### 【事例7】

フランスから到着した国際郵便物に隠匿された**指定薬物(HHC)約1.5g**を摘発した。

(令和5年3月・川崎外郵出張所)



### 【事例8】

香港から到着した国際郵便物に隠匿された**偽造収入印紙(計100万円相当分)**を摘発した。

(令和5年2月・川崎外郵出張所)



【資料1】社会悪物品の摘発実績（全国・横浜）

種類	年	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年			前年比	
		横浜		横浜		横浜		横浜		横浜		対全国比	横浜	
		件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg		対全国比	件
覚醒剤	件	425	31	72	14	95	13	301	33	296	52	18%	98%	158%
	kg	2,587	58	811	301	1,014	472	665	63	1,978	182	9%	297%	290%
大麻	件	242	127	204	99	199	94	138	34	132	29	22%	96%	85%
	kg	82	34	126	23	153	29	473	303	142	7	5%	30%	2%
大麻草	件	110	47	86	42	94	50	57	22	76	17	22%	133%	77%
	kg	61	27	49	8	22	3	315	302	74	1	2%	23%	0%
大麻樹脂等	件	132	80	118	57	105	44	81	12	56	12	21%	69%	100%
	kg	21	7	76	15	132	26	157	1	68	6	9%	43%	766%
麻薬	件	209	125	167	95	233	143	237	83	234	58	25%	99%	70%
	kg	656	2	822	781	61	14	188	43	276	60	22%	147%	138%
	千錠	61	1	90	18	133	73	82	40	36	17	47%	45%	43%
コカイン	件	52	11	27	8	34	14	28	4	67	7	10%	239%	175%
	kg	638	2	820	781	14	0	49	1	103	1	1%	212%	151%
MDMA等	件	67	53	74	43	81	44	98	39	60	17	28%	61%	44%
	kg	0	0	2	0	30	10	94	29	109	42	38%	117%	142%
	千錠	61	1	90	17	130	71	81	39	36	17	47%	45%	44%
ヘロイン	件	5	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	kg	17	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他麻薬	件	85	59	64	43	118	85	111	40	107	34	32%	96%	85%
	kg	0	0	1	0	16	4	46	13	63	17	26%	138%	129%
	千錠	0	0	0	0	3	3	0	0	0	-	全減	20%	全減
向精神薬	件	6	-	2	1	6	1	16	3	10	5	50%	63%	167%
	kg	-	-	-	-	0	-	0	0	0	0	100%	1%	1%
	千錠	0	-	1	1	1	0	2	-	1	0	71%	34%	全増
あへん	件	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
指定薬物	件	165	97	300	234	302	231	354	273	143	75	52%	40%	27%
	kg	14	4	169	161	19	10	19	6	11	1	13%	55%	23%
合計	件	1,047	380	745	443	836	482	1,046	426	815	219	27%	78%	51%
	kg	3,339	99	1,928	1,267	1,251	525	1,346	415	2,406	250	10%	179%	60%
	千錠	61	1	91	19	134	73	84	40	37	18	48%	44%	44%
(参考)使用回数	万回	10,957	-	5,530	-	3,577	-	2,608	-	7,024	-	-	269%	-

銃 砲	件	-	-	3	1	1	-	6	-	1	-	-	17%	-
	丁	-	-	3	1	1	-	7	-	1	-	-	14%	-
うち拳銃	件	-	-	3	1	1	-	6	-	1	-	-	17%	-
	丁	-	-	3	1	1	-	7	-	1	-	-	14%	-
拳銃部品	件	-	-	-	-	1	1	2	1	1	-	-	50%	-
	点	-	-	-	-	1	1	4	2	1	-	-	25%	-

- (注) 1. 令和元年は、平成31年1月から令和元年12月を示す。以下同じ。  
 2. 税関が摘発した密輸事件のほか、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。  
 3. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計を示す。  
 4. 大麻樹脂等は、大麻樹脂のほか、大麻リキッド・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。  
 5. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。  
 6. その他麻薬には、ケタミン・LSD等が含まれる。  
 7. (参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回流用量をもとに換算し、合計したものである。  
 (覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、あへん:0.3g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、MDMA等及び向精神薬:1錠)  
 8. 端数処理のため数値が合わないことがある。  
 9. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。  
 10. 令和5年の数値は速報値である。

## 【資料2】不正薬物の密輸形態別摘発件数（全国・横浜）

（件）

形態別	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		
		横浜		横浜		横浜		横浜	横浜	前年比	
航空機旅客による密輸	389	1	70	5	24	—	93	—	262	3	全増
国際郵便物を利用した密輸	520	376	567	429	689	471	728	413	385	209	51%
商業貨物を利用した密輸	127	3	108	9	123	11	222	13	164	7	54%
航空貨物	121	—	95	—	108	1	205	—	155	2	全増
海上貨物	6	3	13	9	15	10	17	13	9	5	38%
船員等による密輸	11	—	—	—	—	—	3	—	4	—	—
合 計	1,047	380	745	443	836	482	1,046	426	815	219	51%

（注）航空機旅客には、航空機乗組員を含み、船員等には、洋上取引、船舶旅客を含む。また、商業貨物には、別送品を含む。

## 【資料3】不正薬物の仕出地別摘発件数（横浜）

仕出地等	米国	スロバキア	タイ	オランダ*	ドイツ	イギリス	ブラジル	ベルギー	台湾	ベトナム	カナダ*	イタリア	その他	合計
R5摘発件数(件)	43	36	28	25	16	9	6	6	4	4	4	4	34	219
構成比(%)	20	16	13	11	7	4	3	3	2	2	2	2	16	100
R4摘発件数(件)	42	35	9	38	29	12	4	1	187	12	6	1	50	426
前年比(%)	102	103	311	66	55	75	150	600	2	33	67	400	68	51

（注）端数処理のため数値が合わないことがある。